看護学部 卒業生アンケート
実施報告（卒後半年）

対 象 者 ： 卒業後、6ヶ月を経過した卒業生全員（2022年度卒業生 124名）

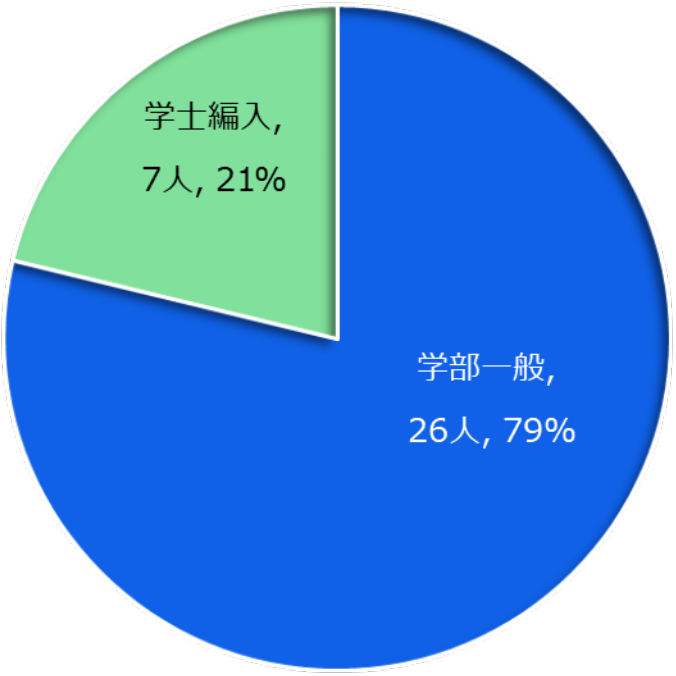
目　　的 ： 卒業後半年を経過した卒業生の進路・就職状況等から、本学における教育成果や効果を検証し、今後の教育や学生支援の改善を図るための参考資料として活用する。

実施方法： Webアンケート（google フォーム® ）

実施期間： 2023年10月28日 ～ 11月13日（回答数　33 件：回答率27%）

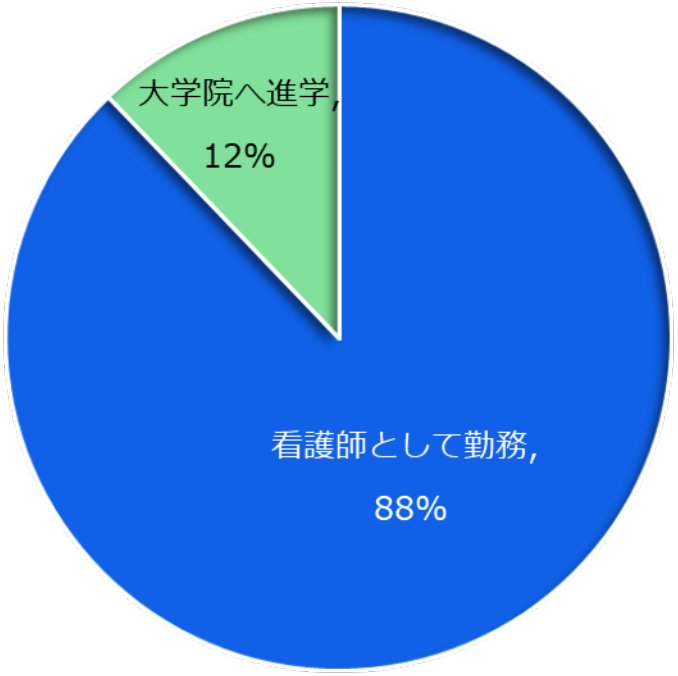
2023.11.15　IR推進室

在学時の所属



n=33

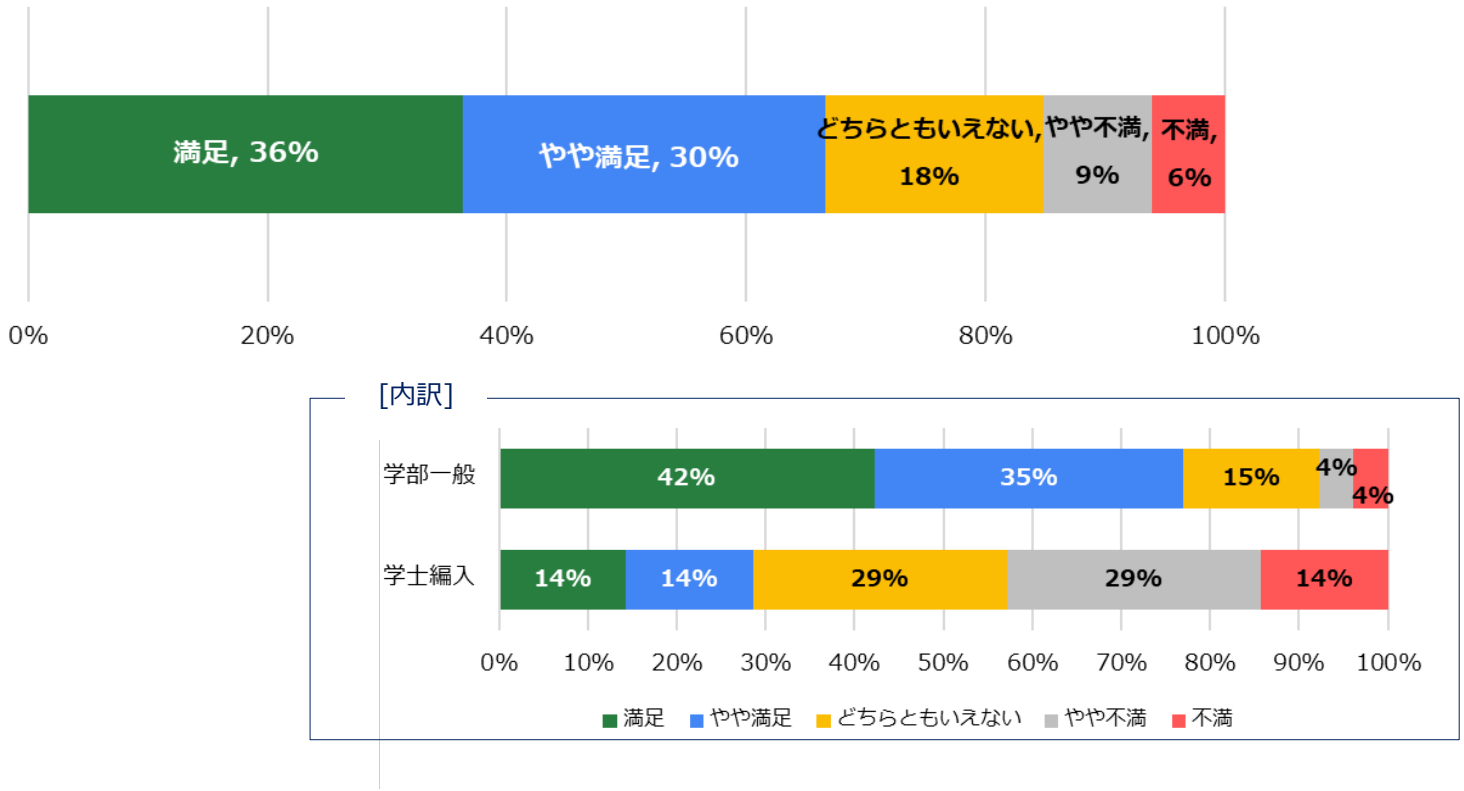
現在の職業等



n=33

現在の状況（仕事等の満足度）

現在のご自身の状況に満足していますか？



「やや不満・不満」と答えた方の理由

・残業が多い。人手不足すぎる。

・仕事そのもの、看護の勉強を楽しいと思うことはあるが、あまりにも残業が多すぎる。

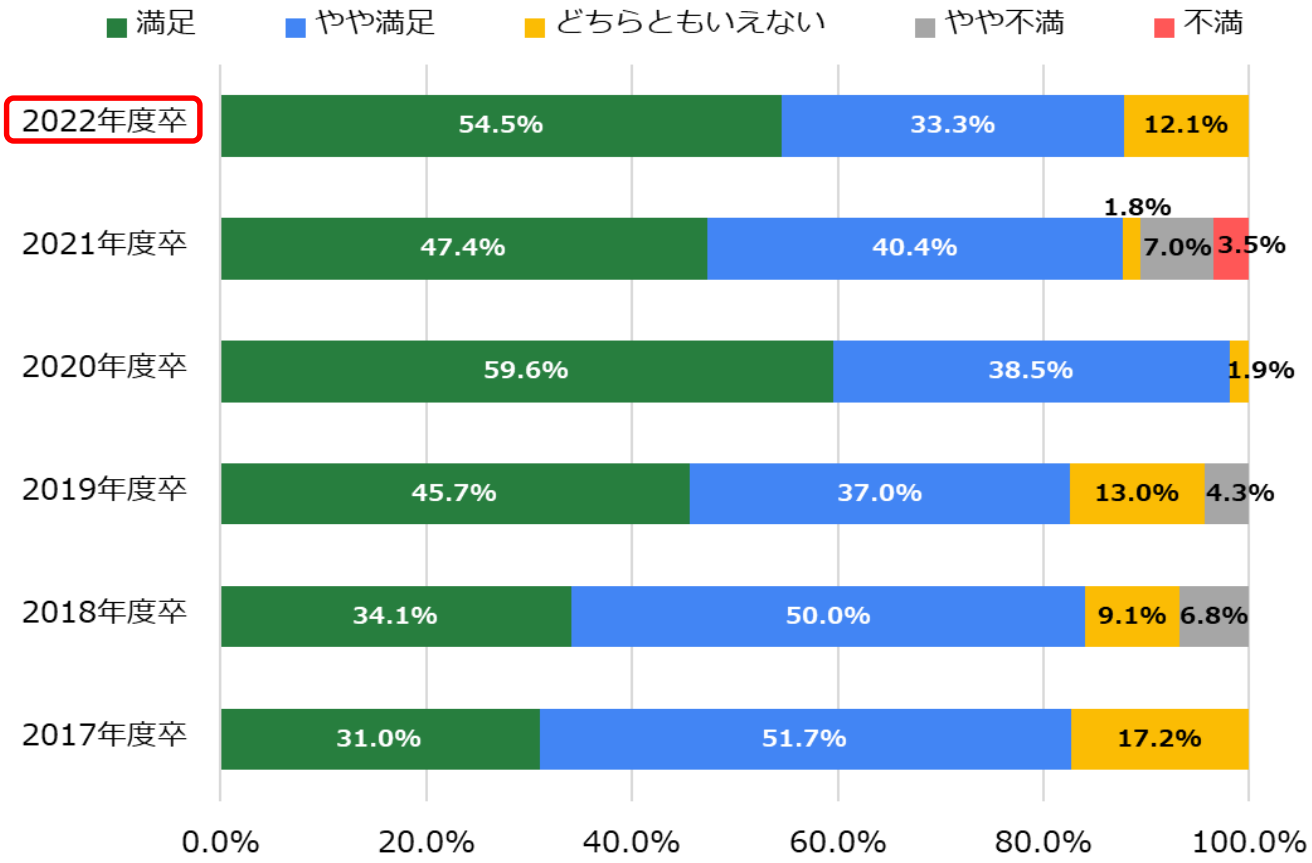
・受け持ちを増やしてほしいと言ってるのに一向に増えなくてなかなか自立するチャンスが得られない。
詰めてくるベテランがいて相談しづらい。プリセプターがいなくなってしまい、相談できる人がいない。

・人間関係が良くない、ワークライフバランスが図れない、前残業1時間つかない、精神的負担が大きい

・多忙なスケジュールのためライフワークバランスが取れない・理不尽な指導

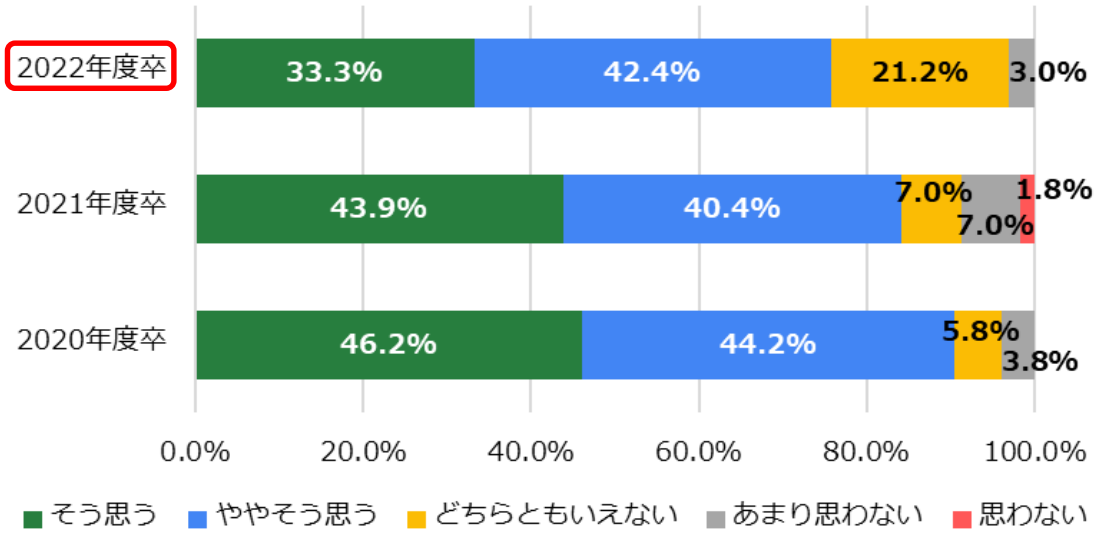
大学に対する評価・満足度等

①本学で受けた教育に、全体として満足していますか？



	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	2022年度卒
満足	31.0%	34.1%	45.7%	59.6%	47.4%	54.5%
やや満足	51.7%	50.0%	37.0%	38.5%	40.4%	33.3%
どちらともいえない	17.2%	9.1%	13.0%	1.9%	1.8%	12.1%
やや不満	0.0%	6.8%	4.3%	0.0%	7.0%	0.0%
不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%
	(n=29)	(n=44)	(n=46)	(n=52)	(n=57)	(n=33)

②本学での学びや経験は、現在の職場（あるいは社会生活全般）において役立っていますか？



「そう思う・ややそう思う」と答えた方の、実際に役立っていると思う「本学での学びや経験」

・PCC、良きサマリア人の教え

・フィジカルアセスメントやクリティカルケア看護論の授業での学びは、いまの仕事に直結しており、役に立っていると感じます。

・一つの物事に対して多角的に考える力

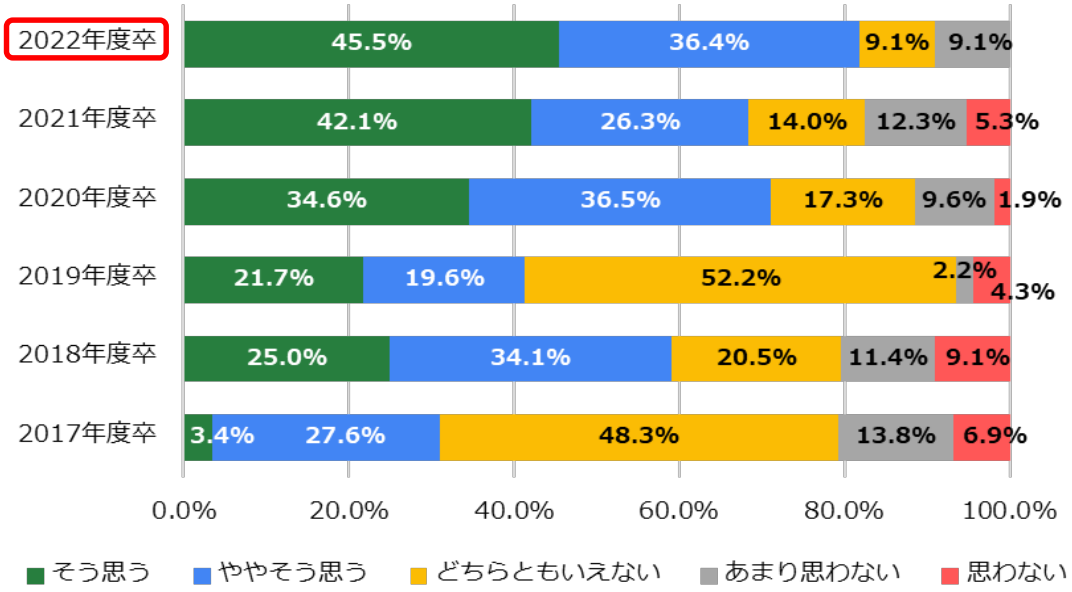
・概ね満足していますが、実習にあまりいけず記録の書き方に不十分さを感じることがあるだけ

・患者さんを中心とした考え方ができること

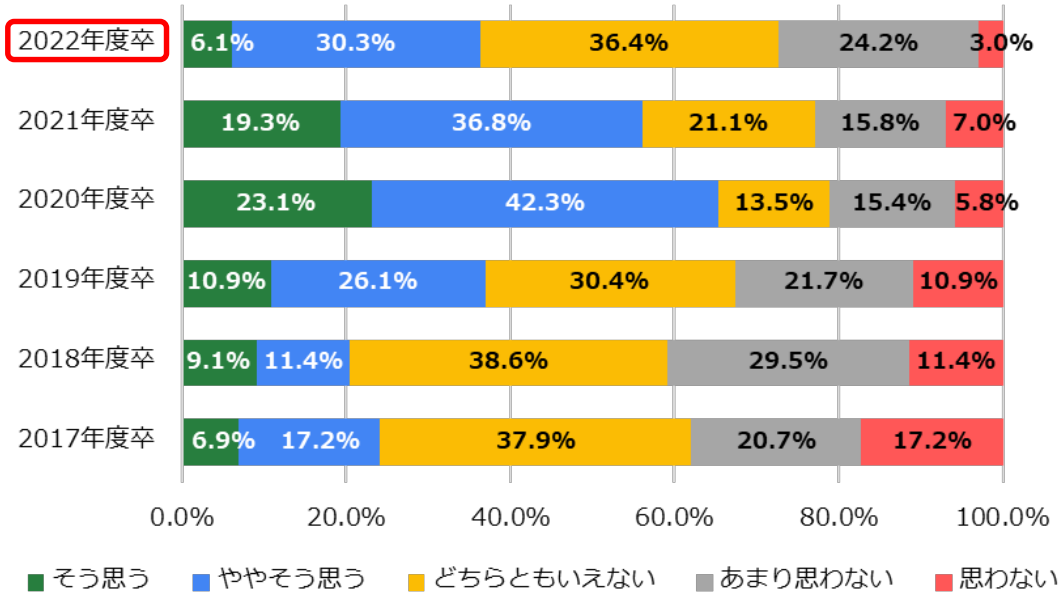
・患者を生活者として見るという習慣が、実際の現場でも生かせていると感じる。

・看護問題立案方法などきちんと立てることができるようになった。

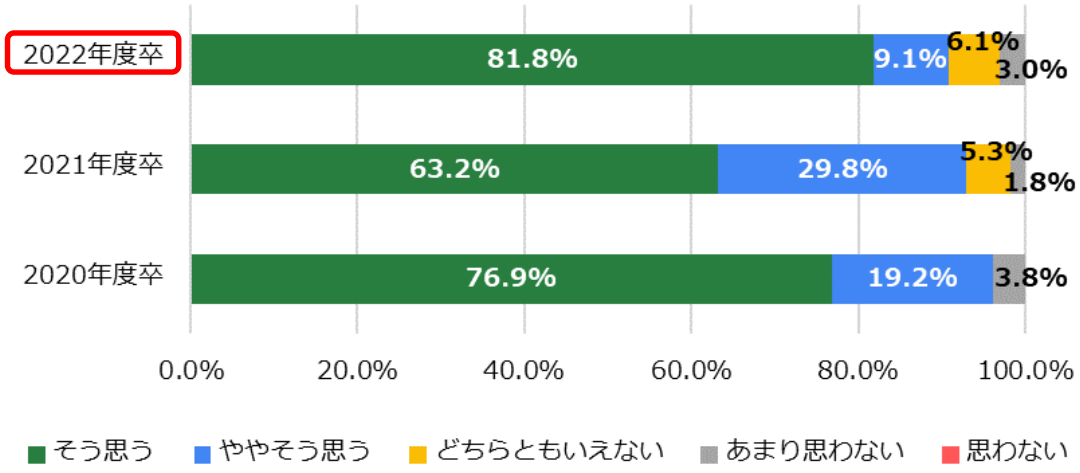
③大学事務の対応は十分でしたか？



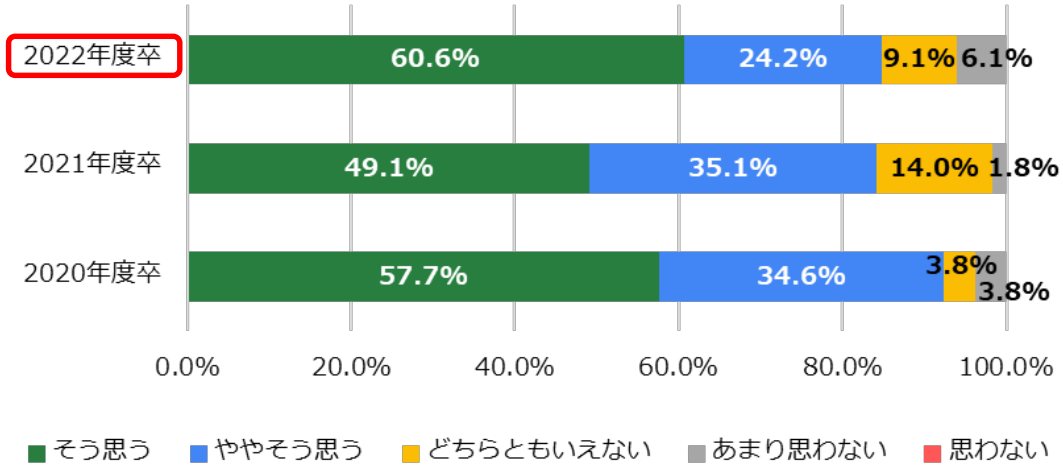
④国家試験受験への支援（サポート）は十分でしたか？



⑤在学時、他の学生との人間関係は円滑で良好なものでしたか？



⑥在学時、教員との人間関係は円滑で良好なものでしたか？



そのほか、多くの卒業生より
貴重なご意見を頂きました。

頂いたご意見については関係者と情報共有を図り、
今後の大学教育・大学運営の改善に向けた
参考データとして活用していきます。

ご協力ありがとうございました。